

「master-piece」の新レーベル
「planb」の
プランについて。

バッグブランド「マスターピース」から届いた
“移動”にまつわる新プロジェクト「planb」。
言わば、ブランドのBサイドを拓くべく試みを、
レーベルを指揮するふたりに訊いた。

取材・文／松本賢志 写真／山口謙吾

“移動”そのものをデザインする、 バッグと植物の意外な関係。

今年、25周年を迎えた大阪発のバッグブランド「マスターピース」。記念すべき節目の年に満を持して立ち上げたのが、新レーベル「planb」だ。「バッグデザインとは移動のデザインであり、その「移」をデザインするということを再考して、ただ商品としてのバッグだけにとどまらず、新たな価値観を持つプロダクトをデザインしていきたい」とディレクターの古家幸樹さん。そんな想いを胸にまず手掛けたのは、極めてシンプルなビニールバッグ。「実は、「planb」のショッパーで購入した植物を運ぶためのショッパーなんです。街で植物を買っても、ほとんどの店が普通の紙袋に入れるだけなので、それなら自分たちで面白くしたい」と古家さんは、白いショッパーを作って、植物を買って持ち帰るまでの移動から、デザインしてしまおうと思



ディレクターの古家さんは、映画業界から転身して今年で7年目。

いまして。確かに手持ちと肩掛けの2WAYで、プランターの出し入れを容易にするジッパーまで備えたそれは、ショッパーにしておくには惜しいほどの仕上がり。何より透明のバッグの中に佇む植物は、持っているだけでも街でひと際目を引くかと。そしてそのショッパーの活躍の舞台が、これまでトピック。先日グランドオープンした「大丸心斎橋本店」に、なんともいきなり直営店をオープンしたのだ。しかも植物のスペシャ

リスト「マチルダ」の服部斎さんとガッチリ手を組み、植物も販売するという。「バッグと植物って意外な組み合わせかもしれないが、僕たちのチョイスした植物を披露する場ではなく、「planb」のショッパーで買った植物を持ち帰ってもらって、移動のデザインを体験してもらえるところだと思えば全然不思議じゃなくて。今や、ただバッグを作って売っただけが、僕たちの仕事ではないと思うので(笑)」。



植物担当の服部さん。共に奈良県大和郡山口市出身で歳も同じ。

もちろん店頭には「planb」レーベルの新作バッグも並び、「今季のコレクションは、万が基本の「マスターピース」本体ではあり得ないほどシンプルなものばかりです。「planb」ではこれからも、デザイナーの発想を万人仕様にするのはなく、できるだけそのままのカたちで商品化していく予定です。あと、例えばどこかのブランドのショッパーだったり、売りモノではないバッグのコラボも、この先まだまだ企画しますので、ご期待ください」。



プランターとトレイも、ロゴやアイコンがプリントされた別注品。

プランビー マスターピース

planb master-piece

【大阪・心斎橋】

去る9月20日にオープンしたばかりの「planb」のコンセプトショップ。植物も定番から珍品奇品まで、植物好きを唸らせるべく本気で提案。「planb」のフルラインに加え、「マスターピース」のバッグも一部取り扱う。

●大阪市中央区心斎橋筋1-7-1 大丸心斎橋店
6F ☎06-4256-1801
10:00～20:30 施設に準じる



NEWS!

「ザ・イノウエ・ブラザーズ」 コラボバッグをプレゼント!

最高級のビマコットンを使った「ザ・イノウエ・ブラザーズ」とのコラボバッグは、なんとオープン記念のノベルティ。2万円以上お買い上げの先着100名にプレゼント。



イタリアが誇る名門タンナー「マストロット社」のスムースレザーオナーで仕上げた、贅沢極まりないショルダーバッグ。39,600円。



センターにレザーを配することで、両サイドのメッシュ地がやんわりと落ち、バッグに表情が現れる2WAYスタイルのトート。37,400円。



上部やポケットの開口は全てフェイクで、内部へのアクセスは両サイドのジッパーからという遊びの効いたバックパック。37,400円。



フルレザーで、コーディネートワンポイントとしても重宝するミニウエストバッグ(左)28,600円とミニショルダー(右)30,800円。